

# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、常願寺川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 常願寺川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、「我が国屈指の急流河川」「土砂流出の著しい河川」であり、洪水流のエネルギーが非常に大きく、中小洪水でも堤防が侵食し、決壊する危険がある。一度氾濫すると氾濫流は、拡散して広がり広範囲に被害がおよぶ等の水害リスクの高い地域である。
- このため、急流河川対策（護岸整備）や浸透対策、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、防災指針策定、洪水等リスクの現地表示やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の昭和44年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



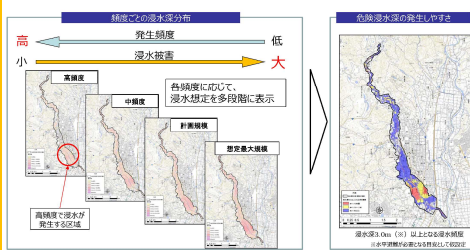
## 【富山河国】

河道掘削、堤防強化（浸透対策）  
急流河川対策（護岸・前腹付け）  
堤防整備、霞堤の保全

富山地方気象台  
・避難のための  
情報発信

富山市  
・立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」  
に向けた取り組み（防災指針策定など）  
・洪水等リスクの現地表示  
・浸水実績の周知  
・排水ポンプ車の出動要請の連絡体制整備  
・水防災教育（出前講座の活用）

## 多段階な浸水リスク情報の充実



## 凡 例

- 大臣管理区間
- 急流河川対策（護岸）、堤防整備  
堤防強化（浸透対策）、河道拡幅
- 河道掘削
- 事前放流の実施ダム
- 県境
- 市町村境
- 流域境



## 水防災教育（出前講座の活用）



富山河川国道事務所、富山市、舟橋村

## マイ・タイムラインの作成及び普及

〔みんなでタイムラインプロジェクト〕  
富山河川国道、黒部河川、北陸  
技術事務所が合同で取り組んでいる



富山県、舟橋村、滑川市、上市町においても  
普及のための取り組みを実施

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 急流河川対策（護岸）、堤防強化（浸透対策）、堤防整備、河道掘削、霞堤の保全
- 砂防関係施設の整備
- 森林整備、治山対策
- 利水ダム8ダムにおける事前放流等の実施・体制構築（関係者：国、富山県、北陸電力（株）等）
- 準用河川の河道拡幅
- 開発行為における雨水貯留施設整備への助成

## ■被害対象を減少させるための対策

- 立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取り組み（防災指針策定など）
- 多段階な浸水リスク情報の充実

## 砂防関係施設の整備



## 森林整備・治山対策



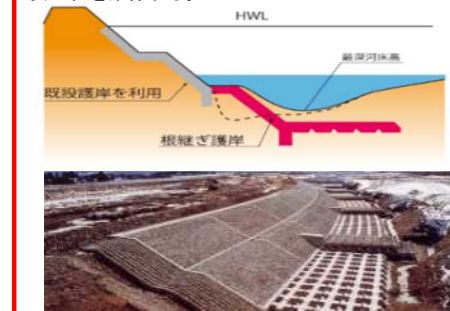
## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 洪水等リスクの現地表示・浸水実績の周知
- 洪水ハザードマップの作成・配布
- 避難訓練への住民参加促進
- 排水ポンプ車の出動要請の連絡体制整備
- 水防災教育（出前講座の活用）
- マイ・タイムラインの作成及び普及
- 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援
- 災害情報普及支援・浸水被害軽減対策
- 水位計・監視カメラの活用
- 水害リスク空白域の解消・避難のための情報発信

## ●グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

## 急流河川対策

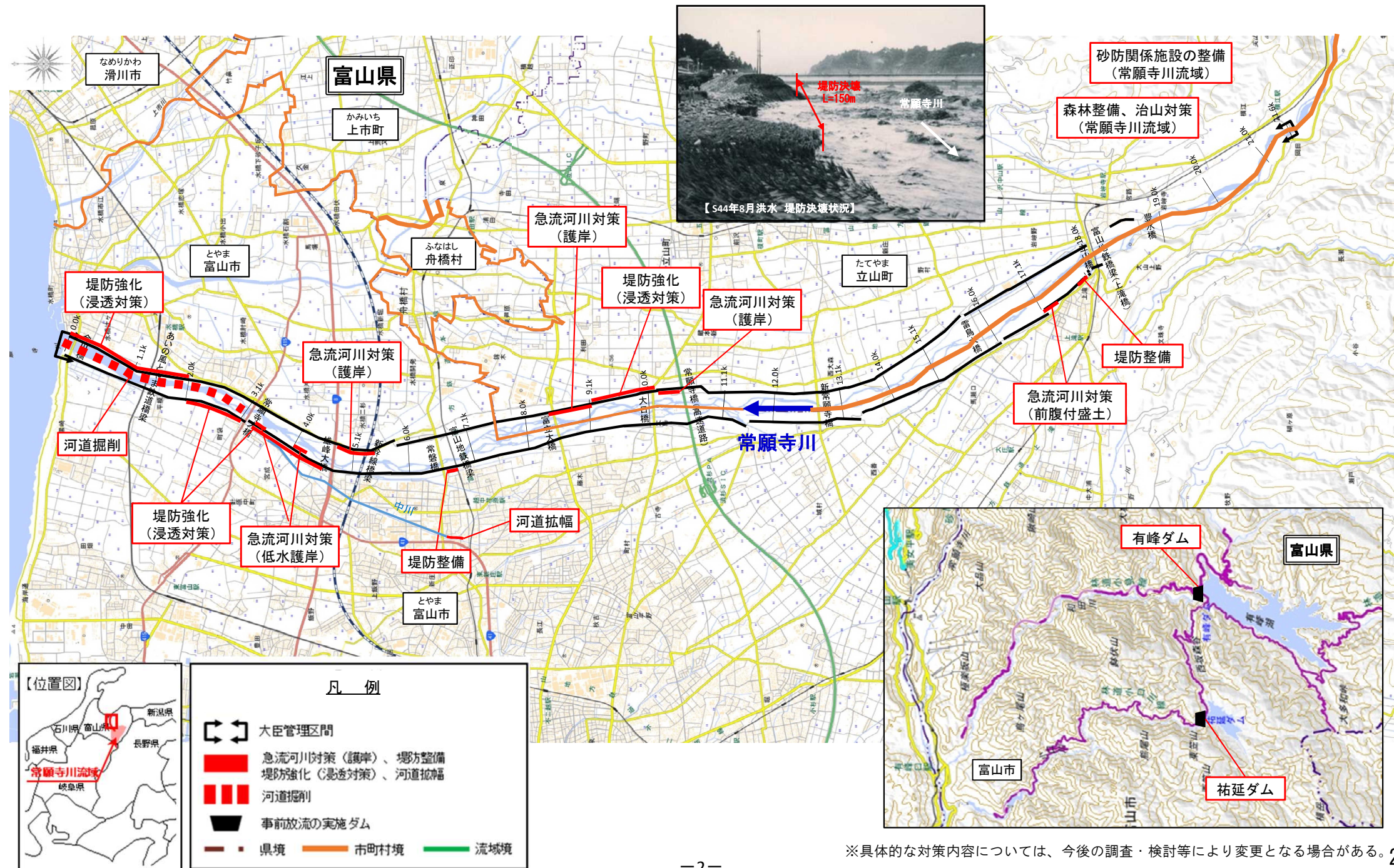
急流河川特有の洪水エネルギーに対し、堤防の安全性を確保する。



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【詳細図】 ～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。2



# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

常願寺川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】国管理区間において常願寺川左岸上流部および右岸中流部において急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策を完成させる。また、左岸上流部の堤防整備を進める。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、災害リスクの現地表示、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中期】常願寺川左右岸下流部において急流河川対策を実施し事業推進を図る。

【中長期】流下能力解消のための河道掘削、堤防整備、堤防強化を図るための対策を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

## 【ロードマップ】

区 分	対策内容	実施主体	工 程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策(護岸)	富山河川国道事務所			
	堤防強化を図るため浸透対策	富山河川国道事務所			
	流下能力不足解消のための河道掘削、堤防整備	富山河川国道事務所			
	砂防関係施設の整備	立山砂防事務所、富山県			
	森林整備、治山対策	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水等リスクの現地表示 水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県、富山市			
	洪水ハザードマップの作成・配布 マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、水防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、富山市、立山町、舟橋村、滑川市、上市町			
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所			
	自然豊かな森林づくり	富山森林管理署、富山水源林整備事務所、富山県			
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗 によって変更となる場合がある。

## 【事業規模】

### ■河川対策

全体事業費 約 7 0 億円

### ■砂防対策

全体事業費 約 4 2 0 億円

# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

## ●グリーンインフラの取り組み 『破壊と再生により形成されてきた多様な河川環境の保全・創出』

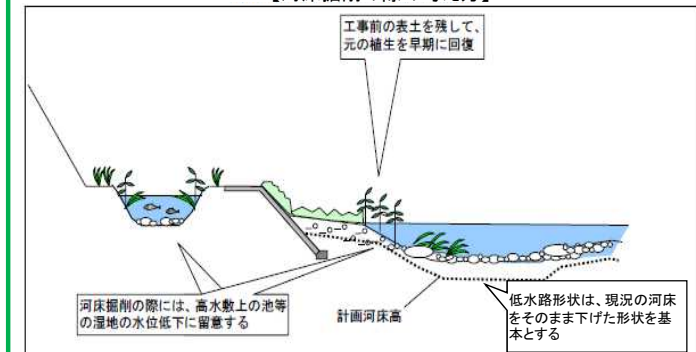
- 常願寺川は、河川環境の変動が大きい急流河川であり、白い礫河原とそこに依存する広範なアキグミ群落・カワラハハコ群落などのような特徴的な河川環境が維持されている。扇状地下流部(雄峰大橋～河口まで)は、抽水植物の豊かな河岸や池、湿地、細流等が形成されており、多くの生物の重要な生息・生育・繁殖環境が存在している。
- 扇状地下流部の多様な環境と扇状地上流部の破壊と再生により形成されてきた礫河原やアキグミ群落が代表する河川環境の保全・創出を図ることを目指し、今後概ね20年間で多様な河川環境を保全・創出するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



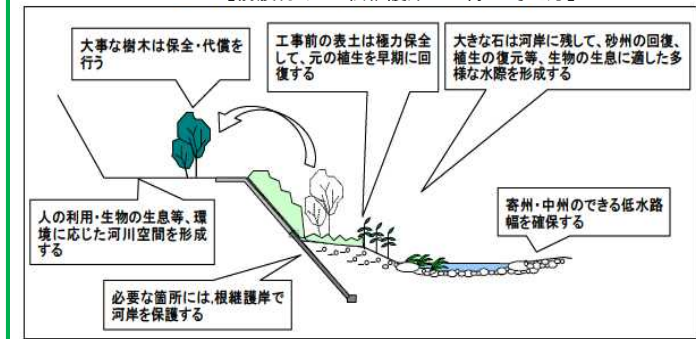
- 治水対策における多自然川づくり  
・生物の多様な生育環境の保全・創出
- 自然豊かな森林づくり  
・森林整備、治山対策
- 自然環境が有する多様な機能活用の取組み  
・住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造  
・小学校などにおける河川環境学習

### 多自然川づくりのイメージ

#### 【河床掘削の際の考え方】



#### 【前腹付け工・根継護岸工の際の考え方】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

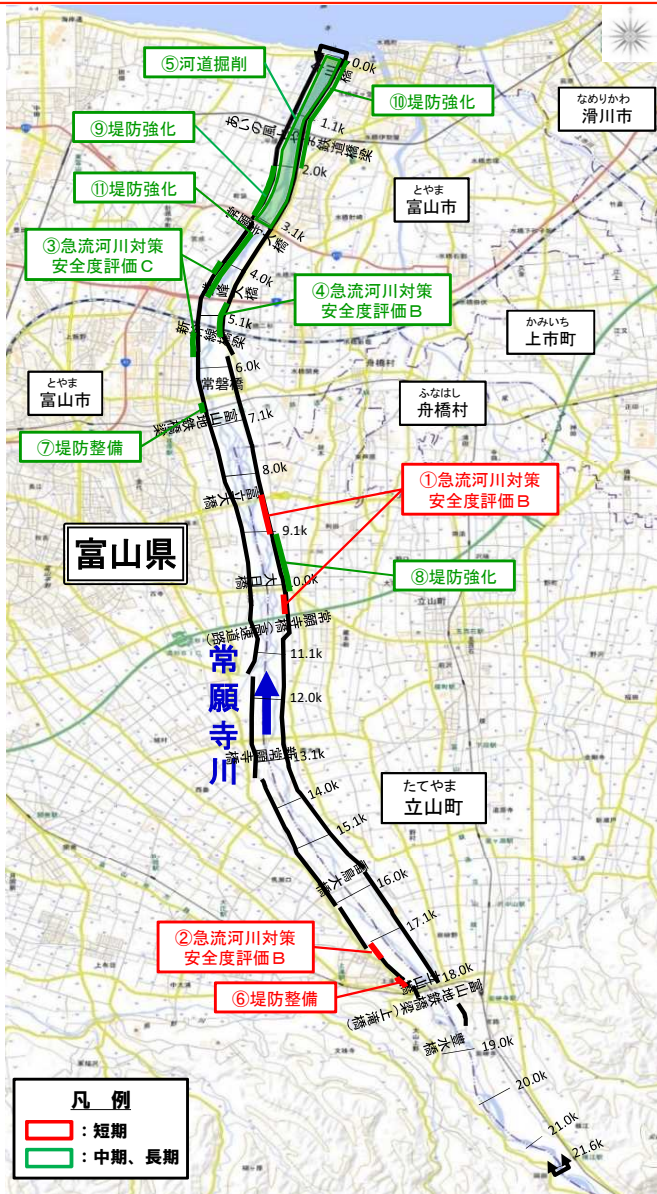


# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

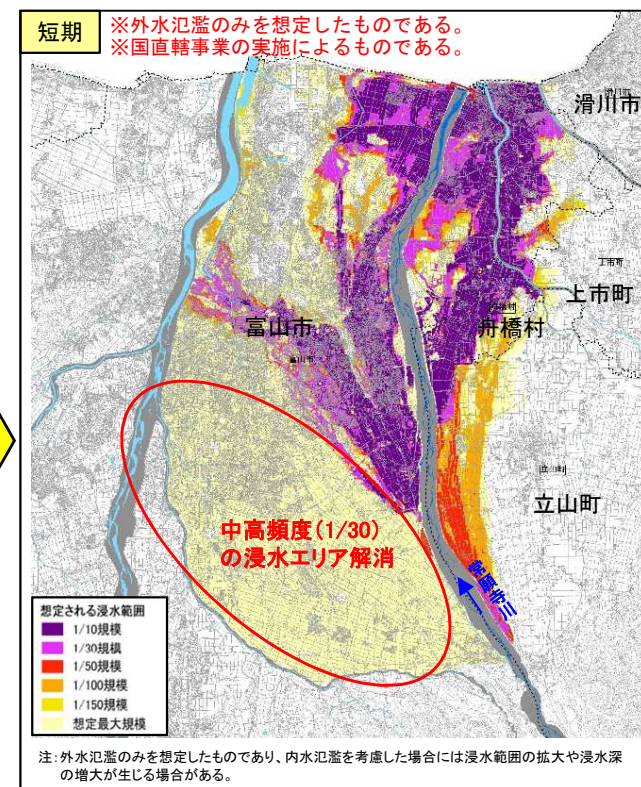
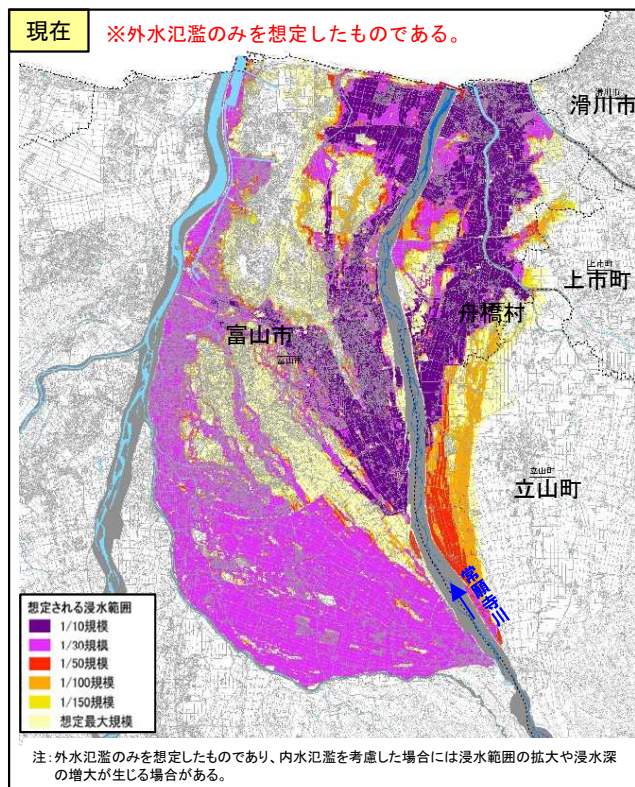
利田地区、日置地区、上滝地区の急流河川対策及び上滝地区の堤防整備が完了することで中頻度(1/30)の浸水面積に対して約6割(約60%)減少し、富山市街地への浸水被害を軽減することが期待される。

**短期整備(5か年加速化対策)効果：**  
**河川整備率 約86.9%→約86.9%**  
**質的整備率 約55.6%→約59.8%**



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3～R7)	中期(R8～R13)	長期(R14～R20)
ぐ、 氾濫を できる ための 対策	常 願 寺 川	急流河川対策B 被害額大	立山町(利田日置)	①	100%		
			富山市(上滝)	②	100%		
		急流河川対策C 被害額小	富山市(一本木)	③		100%	
		急流河川対策B 被害額小	富山市(芝草)	④		100%	
		河道掘削	富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%
		堤防整備	富山市(上滝)	⑥	関係機関協議 100%		
			富山市(朝日)	⑦	水防対応(大型土壌整備等)	関係機関協議(地鉄)	100%
		堤防強化 被害額大	立山町(利田)	⑧			100%
		堤防強化 被害額中	富山市(町袋)	⑨			100%
		堤防強化 被害額小	富山市(水橋)	⑩			100%
			富山市(一本木)	⑪			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。





# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した  
河川の整備（見込）



**整備率：86.9%**

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



**0市町村**

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



**18施設**

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および  
土砂・流木災害対策



治山対策等の  
実施箇所 **2箇所**  
（令和4年度実施分）  
砂防関係施設の  
整備数 **2施設**  
（令和4年度完成分）  
※施行中 0施設

立地適正化計画における  
防災指針の作成



**0市町村**

（令和4年12月末時点）

避難のための  
ハザード情報の整備



洪水浸水想定  
区域 **1河川**  
（令和4年9月末時点）  
※一部、令和4年3月末時点  
内水浸水想定  
区域 **1団体**  
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の実  
効性の確保



避難確保 洪水 **580施設**  
計画 土砂 **30施設**  
（令和4年9月末時点）  
個別避難計画 **5市町村**  
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

[準用河川中川の改修(富山市)]



浸水状況(H20.8)



着工区間  
未着工区間

準用河川中川においては、河川の断面不足などにより浸水被害が多発しており、河積を確保し洪水被害の解消を行うことにより、治水機能の向上を図る。

被害対象を減少させるための対策

[立地適正化計画における防災指針策定  
(富山市)]

[イメージ]



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

富山市は、急流河川である常願寺川と神通川が流下している特性から、氾濫流は拡散するため居住誘導区域の多くが浸水想定エリアに含まれる。今後も居住の誘導を図り、都市のコンパクト化を進めるためには、防災性の向上が必要。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

[要配慮者利用施設の避難計画の作成  
及び訓練の促進(富山県河川課)]



水防災教育講座(富山県河川課)

高齢者福祉施設等の要配慮者利用施設における水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、市町村が開催する施設管理者向け講習会への講師派遣等により、避難確保計画の作成や避難訓練の実施を支援する。

【取組実績】

- ・令和3年度：富山市にて講習会
- ・県内の要配慮者利用施設1553施設中875施設(56.3%)で計画を作成済み(R3.09.30時点)



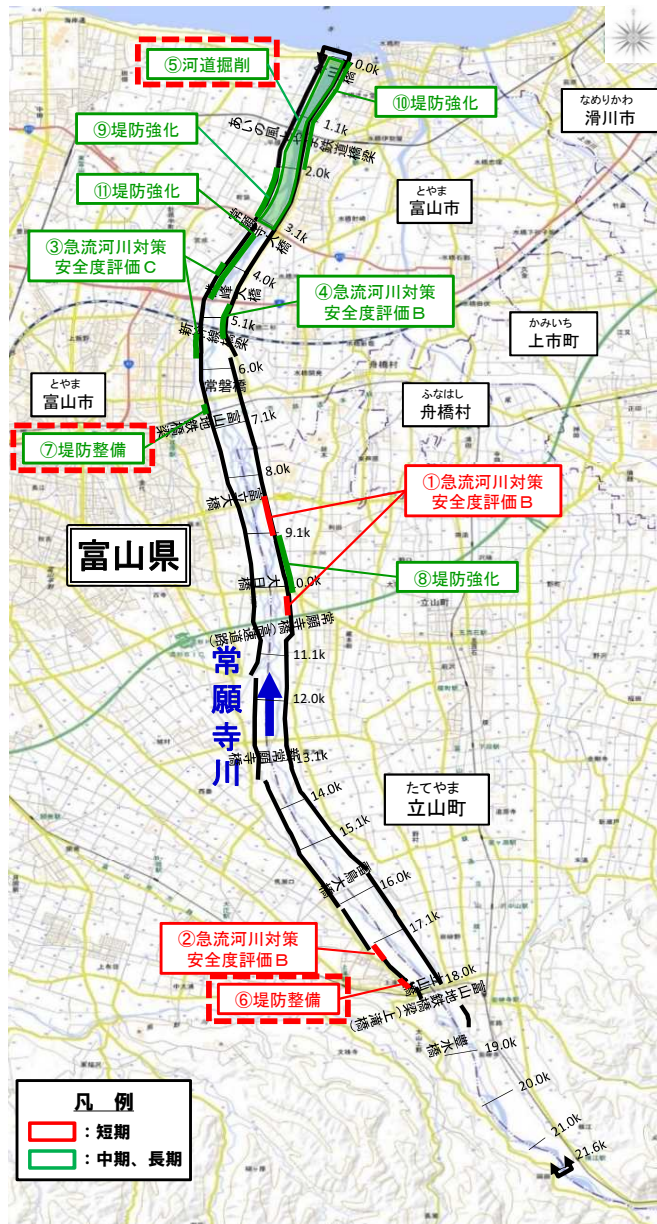
# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

※ 量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

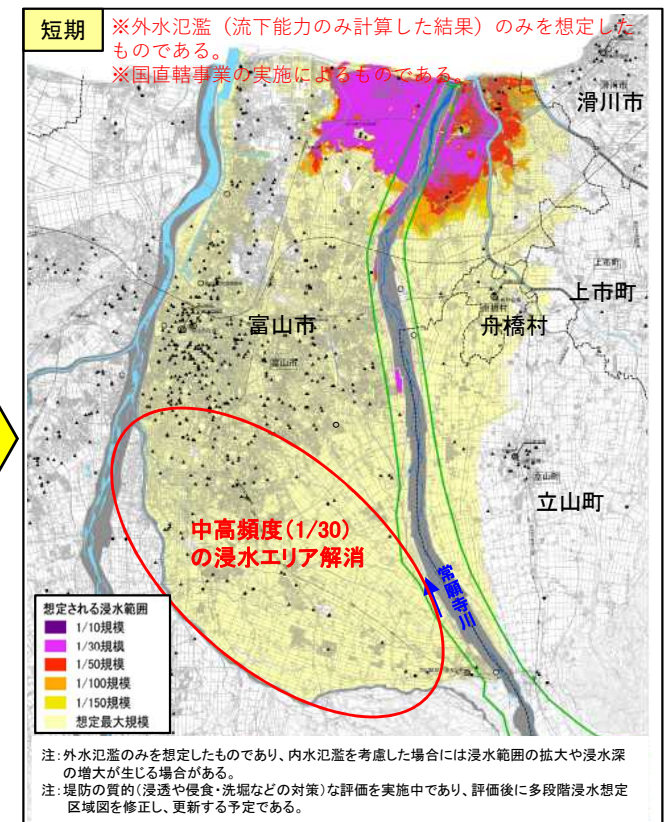
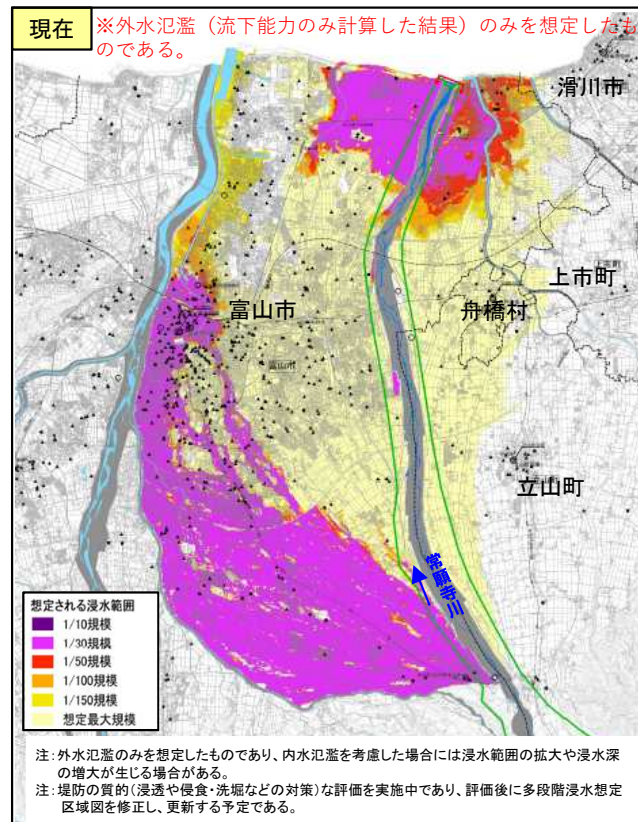
【量的整備】上滝地区の堤防整備の推進。

短期整備(5か年加速化対策)効果：  
河川整備率 約86.9%→約86.9%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3～R7)	中期(R8～R13)	長期(R14～R20)
ぐ・氾濫をできるだけの対策	常願寺川	急流河川対策B被害額大	立山町(利田日置)	①	100%		
			富山市(上滝)	②	100%		
		急流河川対策C被害額小	富山市(一本木)	③		100%	
		急流河川対策B被害額小	富山市(芝草)	④		100%	
		河道掘削	富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%
		堤防整備	富山市(上滝)	⑥	関係機関協議 100%		
			富山市(朝日)	⑦	水防対応(大型土兼配備等)	関係機関協議(地鉄)	100%
		堤防強化被害額大	立山町(利田)	⑧			100%
		堤防強化被害額中	富山市(町袋)	⑨			100%
			富山市(水橋)	⑩			100%
		堤防強化被害額小	富山市(一本木)	⑪			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。





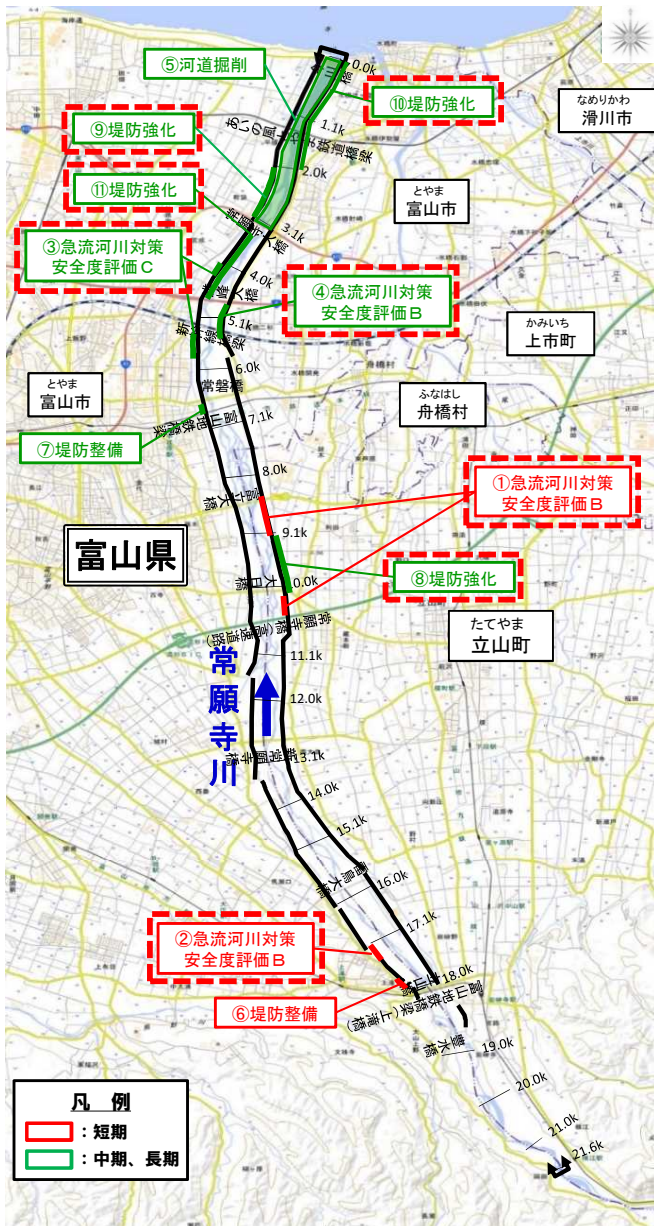
# 常願寺川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～急流河川特有の洪水防御と流域治水対策の推進～

※ 質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

【質的整備】利田地区、日置地区、上滝地区の急流河川対策の推進。

**短期整備(5か年加速化対策)効果：**  
**質的整備率 約55.6%→約59.8%**



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(R3~R7)	中期(R8~R13)	長期(R14~R20)
ぐ、減らすための対策	常願寺川	急流河川対策B 被害額大	立山町(利田日置)	①	100%		
		急流河川対策C 被害額小	富山市(上滝)	②	100%		
		急流河川対策B 被害額小	富山市(一本木)	③		100%	
		急流河川対策B 被害額小	富山市(芝草)	④		100%	
		河道掘削	富山市(町袋・水橋)	⑤		75%	100%
		堤防整備	富山市(上滝)	⑥	関係機関協議 100%		
		堤防整備	富山市(朝日)	⑦	水防対応(大型土嚢配備等)	関係機関協議(地鉄)	100%
		堤防強化 被害額大	立山町(利田)	⑧			100%
		堤防強化 被害額中	富山市(町袋)	⑨			100%
		堤防強化 被害額中	富山市(水橋)	⑩			100%
		堤防強化 被害額小	富山市(一本木)	⑪			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

